

16 文法のみとめ あいまいな文・論理構造

組	
番号	
氏名	

1 次の各例文を二つの意味に取れるように、読点を打って書きなさい。

例文① ここではきものをぬぎなさい。

Blank box for example 1

Blank box for example 1

例文② 山田さんのように努力できない人には上達は難しい。

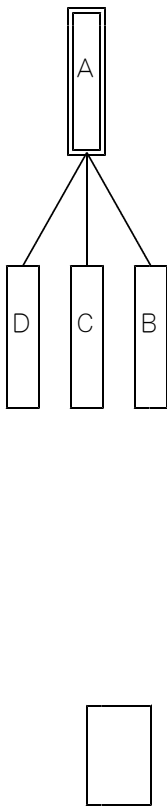
Blank box for example 2

Blank box for example 2

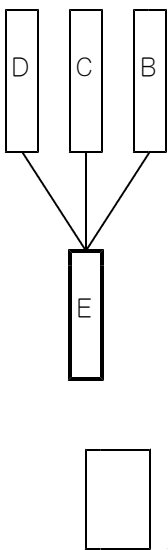
2

次の図に当てはまる「文章の論理構造」を後の例文を参考に、ア、頭括型、イ、双括型、ウ、尾括型から選んで [] に記号で答えなさい。

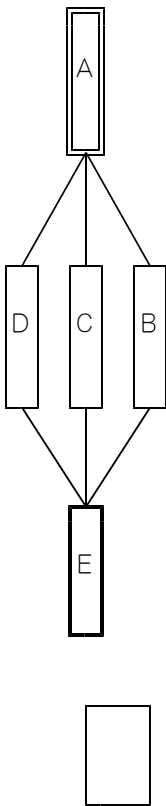
① 初めに主題を示し、次に具体的説明や論証をする。



② 初めに事実や事柄などを述べ、最後にそこから導かれる結論を示す。



③ 初めに主題を示し、説明などを加えてから、再び結論（主題）を示す。



(文例)

A 春は出会いと別れの季節である。
 B 入学式は新しい友達や同級生との出会いが待っている。
 C また、対面式や部活動入部では先輩との出会いもある。
 D しかし、三月には卒業という別れを経験している。
 E だから、春は悲しみと喜びが複雑に絡み合っているのだ。

3 次の問題に答えなさい。

「先生の教えてくださったことを他山の石としてがんばります。」この言い方には誤りがあります。なぜ誤りなのか分かりやすく説明しなさい。

4 次のうち傍線部の言葉の使い方が正しいものはどれか。その記号を書きなさい。

- ア 幼なじみの彼とはなぜか昔からうまが合った。
- イ 迷子の犬が戻ってきたので、彼はほっとして肩を落とした。
- ウ 修学旅行の班別活動で、私たちは路頭に迷った。
- エ 母は父の意見に反対らしく、しきりにあいづちを打った。

「
」

5 次の①～③の問いに答えなさい。

① 次の□の部分に入れるのに最も適切なものを後から選び、記号で書きなさい。

先日、親しい友人が思わぬ事故に遭った。ただ比較的軽いケガで済んだのは□だった。

- ア けがの功名
- イ 不幸中の幸い
- ウ 転ばぬ先のつえ
- エ 油断大敵
- オ 楽は苦の種 苦は楽の種

「
」

② 「一度してしまったら取り返しがつかない」という意味のことわざとして最も適切なものを、後から選び、記号で答えなさい。

- ア 雨降って地固まる
- イ 身から出たさび
- ウ 覆水盆ふくすいぼんに返らず
- エ 焼け石に水

「
」

③ 次のア～エから、A「つじつまがあわないこと」B「本質的には変わらないこと」の意味で用いられるものを、それぞれ答えなさい。

- ア 推敲
- イ 矛盾
- ウ 漁夫の利
- エ 五十歩百歩

A 「
」
B 「
」